

「電気通信施設WG」を設置

入札契約手法の検討へ

国土交通省は、発注方法の最適化などを審議する直轄事業の建設生産システムにおける発注者責任懇談会・品質確保専門部会に「電気通信施設ワーキンググループ」を設置し、河川と道路管理用電気通信施設の入札契約手法の検討を始める。9月11日に初会合を開き、①競争性、透明性確保のための方策②技術的難易度の高い設備への高度技術提案型の適用③技術的難易度の高い設備への施工・維持管理一体型発注の適用について意見を交わす。WGでの検討と並行し、施工・維持管理一体型発注などは、年度内に5件程度の試行を予定している。

発注者責任懇談会品質確保専門部会

河川、道路工事の案件については、注方式の適用の在り方などを入札参加登録業者がほかの工種と比べて少なく、一つの案件に対して応札者が数社にとどまるケースが多いという。国土交通省では、競争性、透明性を確保するための方法として、設備工事での入札要件や既存設備との接続条件の明確化などを図り、応札者をできるだけ増やすことを考えている。このため、品質確保部会にWGを設置し、入札契約手法の在り方や競争性確保の方策、新たな発注主体(工場製作を伴う)

県建設業協会鹿児島支部環境委

環境宣言の要旨決定



県建設業協会鹿児島支部(川畑俊彦支部長)の第6回環境委員会(野添正文委員長)が21日あった。鹿児島市へ環境宣言を24日に控え、環境宣言の要旨を決定した。鹿児島市の建設セクターで開いた委員会には、川畑支部長をはじめ、委員、鹿児島市環境保全課の職員らが出席。当日は、環境宣言を推敲(すいこう)するとともに、環境活動パンフレットの素案について検討。全体のバランスから語句の1文字ずつに至るまで、議論を尽くし、最終案をとりまとめた。環境宣言は、環境宣言を推敲(すいこう)するとともに、環境活動パンフレットの素案について検討。全体のバランスから語句の1文字ずつに至るまで、議論を尽くし、最終案をとりまとめた。環境宣言は、環境宣言を推敲(すいこう)するとともに、環境活動パンフレットの素案について検討。全体のバランスから語句の1文字ずつに至るまで、議論を尽くし、最終案をとりまとめた。

マンションすまい・る債

27日から募集開始

住宅金融支援機構(島田精一理事長)は、マンション管理組合向けの債権「マンションすまい・る債」の募集を8月27日から開始する。同機構発行の債券をマンション管理組合が定期的に購入する形で、修繕積立金の計画的な積み立てが可能となる。締め切りは10月12日(消印有効)まで。応募要件は、機構融資を受け、共用部分の修繕

連続立体交差事業の費用負担

15年ぶりに見直し

国土交通省は、平成4年以来15年ぶりに、連続立体交差事業を実施する際の地方公共団体と鉄道事業者との費用負担率を見直した。鉄道事業者の基本費用負担率は、東京23区の場合、現行の14%から15%になり1%増、人口30万人未満の地方都市では現行5%から4%とし1%減らす。また、土地利用の状況に合わせた費用負担率なども新たに設定した。連続立体交差事業は、地方公共団体が都市計画事業として実施。高架化に伴う受益分を鉄道事業者が負担している。それ以外に、国庫補助金(補助率2分の1)と地方自治体の一般財源などが充てられる。今回、地価水準などの社会経済情勢の変化を踏まえ、基本となる鉄道事業者の費用負担率を見直した。「基本費用負担率」とは、複線化など機能増強を伴わない連続立体交差事業で、鉄道事業者が

これまでに最も感動した書籍は何と問われれば、私は迷わずエリザベス・キューブラー・ロス著の「死ぬ瞬間」と答えた。



木陰 寛治

死ぬ瞬間

死に行く人々の心理的アプローチと精神的ケアを始められ、ターミナル・ケア(終末期医療)の分野を確立された方である。博士は、1999年タイム誌が選んだ20世紀最大の哲学者・思想家100人のうちの一人でもあった。博士の著作「死ぬ瞬間」は、人の心が死をどのように受け入れるかを、①否認、②怒り、③取引、④抑うつ、⑤受容の五段階にまとめられたものである。①「否認」とは、自分が死ぬという事は嘘ではないかと疑う段階である。②「怒り」とは、自分が死ぬことへの理不尽さ、怒りが表れる段階である。③「取引」とは、神仏などと取引すること、死とは「無意味な暴力」

建設業の詳しい情報は...

<http://www.kc-news.co.jp>

無料体験実施中

業者格付・県市町村予算・発注予定工事等々

情報は盛りだくさん

お問い合わせ: 099-222-6121